

私たちの身近な文化財

～野火止用水①～

キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をのせています。小さい子は、読めない字があったら、おうちの人に教えてもらってね。

おうちの方へ
小学校3年生が読めるようにふりがなをふっていますが、大人にも読んでいただけるコーナーですので、ぜひお子さんと一緒に読んでください。

図1 野火止用水の取り入れ口(左側、1957年ころ)



今から約400年前、戦国時代をおわらせた徳川家康は、江戸幕府を開き、すぐれたまちづくりによって江戸(いまの東京)を開発し、現在の東京都心をほぼ形作りました。青梅街道や甲州街道などの道路も整備され、人口が急激に増加したためすぐに飲み水が不足し始めました。幕府は、江戸に飲み水を供給するため、多摩川の上流から水路を掘って水を江戸まで導く計画を立て、老中松平伊豆守信綱を責任者として工事が行われました。これが玉川上水で、承応3年(1654年)のことでした。現在の羽村市にある多摩川の取水口からはじまり、東京都心の四谷大木戸まで続いています。こうして江戸は飲み水が確保されました。

幕府は、上水をつくりあげた松平信綱へのほうびとして、玉川上水の水の一部を信綱の治める土地へ分け与えることを許しました。このとき作られたのが野火止用水で、承応4年(1655年)のことでした。この水路は、玉川上水の小平市の西の端のところ、いまの西武拝島線玉川上水駅のすぐ東(東京都水道局小平監視所)に水の取り入れ口が作られ(図1)、ここから北東へ分かれ、いまの埼玉県新座市の野火止原まで続いています。このころ信綱は、水の乏しい野火止原であたたかな村をつくりはじめており、村に移住する人のために水の確保が必要だったものと思われま。言い伝えでは、用水をつくりはじめてから野火止原まで水が流れるまで3年かかったとのことで、小平から分けられた水は、すぐには野火止原までは届かなかったようです。

野火止用水は、玉川上水に作られた分水路のなかでは水の取り入れ口が一番大きく、玉川上水は多摩川からの取り入れ口の広さが9,000坪(約8.26㎡)だったのに対し、野火止用水は3,600坪(約3.3㎡)ありました(図1)。これは最大で玉川上水の水量の4割に相当します。古い記録によれば、別の分水路は取り入れ口の広さがわずか4坪(約0.0036㎡)などというものもありますから、松平信綱の治める土地にはとてもたくさんの水が分け与えられ、信綱の功績に対する幕府の評価の大きさがわかるといえます。

江戸時代になり、青梅街道が整備されると、小平市のあたりは、青梅街道を中心に七ヶ所への道が交差する交通の要衝となりました。しかし一方で、このあたりは武蔵野台地といわれる地域で、自然の川がなく水が得られないため、人が住むのがむずかしく、街はありませんでした。青梅から江戸への馬による石灰の運搬などで交通量が多いにも関わらず、小平で人馬が行き倒れることがたびたびありました。

さて、玉川上水ができたことで、水の乏しい土地に水が流れてくることになりました。狭山丘陵の南のふもとと岸村(武蔵村山市)に住んでいた小川九郎兵衛は、玉川上水と野火止用水がつくられたのを見て、人々が安全に行き来できるよう、そこにあらたに村をつくることを願います。明暦2年(1656年)のことでした。これが小川村です。村づくりは、青梅街道を中心にして玉川上水と野火止用水がY字に分岐するところから東側へ上水・用水ふたつの水路の間の範囲で行われたため、村の形は砲弾のようになりました(図2)。村のなかには馬継ぎ場もでき、以後人々はより安全に往来できるようになりました。こうして、荒れ地に近かった小平は、少しずつ人が住めるよう開発されていきました。(次号へ続く)

※1坪=1寸(約3.03cm)×1寸(約3.03cm)の「寸坪」のこと

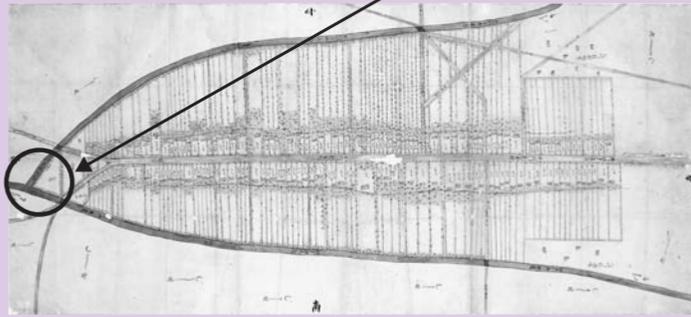


図2 小平村の地図(1870年代)

平櫛田中彫刻美術館 特別展 『ロダン没後100年 『ロダンと近代日本彫刻』』

とき 2月3日(金)～3月12日(日) 午前10時～午後4時(会期中は無休)
※なるべく午後3時30分までに入館してください。
観覧料 一般 800円(640円)、小・中学生 150円(110円)
※カッコ内は団体20人以上 ※駐車場をご利用の方はご連絡ください。

◆会期中のイベント 記念講演会+ミニコンサート
とき 3月4日(土) 午後1時30分～3時30分(予定)
ところ ルネこだいらレセプションホール
入場料 無料(当日、会場へ。先着順)
出演者 高橋幸次さん(日本大学芸術学部教授)、La Pesca(ラ・ペスカ)
◆臨時休館日
1月30日(月)～2月2日(木)、3月13日(月)～3月16日(木)
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098

平成28年度 教育委員会表彰候補者について

小平市教育委員会では小平市立小・中学校の児童・生徒を対象とした表彰式を行っています。平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に、東京都大会規模で準優勝以上の成績を修めたお子さんについては、担任の先生までお知らせください。候補者の要件などの詳細は学校または下記連絡先までお問い合わせください。
問合せ 教育総務課 ☎042(346)9568

ダンスイベントのお知らせ 〓来場ください!

第10回 多摩六都 ヤング・ダンスフェスティバル ～10th Anniversary

高校生によるダンスフェスティバルです。圏域の高校14校29チームが日頃の練習の成果を披露します。
とき 平成29年2月5日(日) 午後1時30分～5時(予定)
開場:午後1時

第13回 小平よさこいスクールダンスフェスティバル in 2017

地域の幼児から小・中学生、大学生、社会人まで幅広い年齢層で活動している「よさこい」やダンスの発表会です。
とき 平成29年2月19日(日) 午後1時30分～4時(予定)
開場:午後1時



共通 申込み/当日会場へ(入場無料)
ところ/ルネこだいら 大ホール ※駐車場はありません。
問合せ/地域学習支援課 ☎042(346)9834

教育委員会事務の点検・評価を実施

教育委員会が平成27年度に実施した54事業について点検・評価を行いました。報告書は、市政資料コーナー(市役所1階)、小平市ホームページでご覧になれます。
問合せ 教育総務課 ☎042(346)9568

本との新しい出会いを 図書館では今年も、「本の福袋」の貸出を行います。どんな本が入っているかは、開けてからのお楽しみ。

本の福袋

とき 12月24日(土)から ※福袋がなくなり次第終了
ところ 市内図書館・分室全館
内容 対象年齢別に「本の福袋」を用意します。子ども向け(0～3歳児、4～6歳児、小学校低学年、小学校高学年、中学生・高校生)、大人向けがあります。
※図書館利用カードの登録が必要です(利用停止の方は不可)。
問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246



教育委員会の行事 〓主なものを掲載しています。また、開催日等は変更になる可能性があります。

月日	行事
12月 15日(木)	教育委員会定例会 / 市役所 504会議室 社会教育委員の会議 / 市役所 庁議室
16日(金)	総合教育会議 / 東部市民センター 集会室
20日(火)	公民館運営審議会定例会 / 中央公民館 会議室
22日(木)	小・中学校終業式
1月 5日(木)	第37回ふるさと新聞元旦号展 / 中央図書館(～12日)、上宿図書館(1/14～1/18)、大沼図書館(1/21～1/26)
8日(日)	第37回新春歩け歩けのつどい / 市内東コース
9日(月)	成人式 / ルネこだいら 大ホール
10日(火)	小・中学校始業式 中学生生徒意見発表会 / ルネこだいら 大ホール
12日(木)	教育委員学校訪問 / 十小、十四小、四中 図書館協議会 / 中央図書館
18日(水)	特別支援学級合同作品展(～22日) / ルネこだいら 展示室
19日(木)	教育委員会定例会 / 市役所 505会議室
21日(土)	大沼公民館まつり(～22日) 多摩郷土誌フェア / 立川市女性総合センターアイム(～22日)
22日(日)	冬の家族一日図書館員 / 中央図書館及び地区図書館
24日(火)	公民館運営審議会定例会 / 中央公民館 会議室
27日(金)	花小金井南中学校研究発表会 / 花小金井南中学校
2月 1日(水)	小平市教育研究発表会 / ルネこだいら 大ホール 小学校児童作品展 / 中央公民館 1階ギャラリー(～5日)
3日(金)	特別展「ロダン没後100年 ロダンと近代日本彫刻」(～3月12日)
5日(日)	第10回 多摩六都ヤング・ダンスフェスティバル / ルネこだいら 大ホール 第37回こだいら市民駅伝大会
9日(木)	教育委員学校訪問 / 十三小、上宿小、二中
16日(木)	教育委員会定例会 / 市役所 505会議室 社会教育委員の会議 / 市役所 庁議室
19日(日)	第13回 小平よさこいスクールダンスフェスティバル / ルネこだいら 大ホール
3月 1日(水)	小学校教科等研究発表会 / ルネこだいら 大ホール 小平市公民館九館会まつり(展示～5日、舞台等4・5日)
12日(日)	第46回ニュースポーツデー
14日(火)	教育委員会表彰式 / 福祉会館 市民ホール
16日(木)	教育委員会定例会 / 市役所 505会議室
17日(金)	中学校卒業式

✂=会議等 ! =イベント等